



1

1 $a : b = c : d$ ならば $a d = b c$

2 x についての方程式に $x = -1$ を代入する。

$$2 \times (-1) + 12 = a - 3 \times (-1)$$

3 (1) (代金) = (単価) \times (個数)

(2) 代金の合計が 1750 円であることをもとに立式する。

4 (2) 折り紙の枚数を 2 通りの方法で表す。

5 (1) (道のり) = (速さ) \times (時間)

(2) 妹と兄の進んだ道のりが同じであることをもとに立式する。

6 行きにかかった時間と帰りにかかった時間の合計が 7 時間であることをもとに立式する。

7 ① $2x + 3y = 12$, $3x - 5y = -1$ を連立方程式として、連立方程式の解を求める。

② ①で求めた x , y の値を $ax + by = 1$, $bx + ay = 4$ にそれぞれ代入する。

8 「A 4 個と B 3 個の重さの合計は 260 g」「A 5 個と B 6 個の重さの合計は 370 g」であることをもとに立式する。

9 (1) (時間) = (道のり) \div (速さ)

(2) かかった時間の合計が 1 時間 42 分であることをもとに立式する。1 分 = $\frac{1}{60}$ 時間

10 (1) \bigcirc の $\Delta\%$ $\rightarrow \bigcirc \times \frac{\Delta}{100}$

(2) 今月の増加量が 220 kg であることをもとに立式する。

11 もとの自然数 $\rightarrow 10x + y$, 入れかえてできる自然数 $\rightarrow 10y + x$

(入れかえてできる自然数) = (もとの自然数) + 27